

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-07 社会を明るくする運動事業 □支援部門						
主管課	生活福祉課(福祉政策課)	関連課					
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	社会を明るくする運動が推進されるよう支援していく。						
人口等のデータ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	人口	177,204人	177,161人	176,669人			
	世帯数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯			
運営資源状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	278	298	313			
	(国・県)	0	0	0			
	(負担金等)	0	0	0			
	(一般財源)	278	298	313			
	人員配置数	0.5	0.7	0.7			
	人件費(千円)	4,409	6,281	6,477			
事務事業運営経費	協働のパートナー	保護司会	保護司会	保護司会			
	総事業費(千円)	4,687	6,579	6,790			
	市民1人当りの経費(円)	26	38	38			
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
		目標値					
◎目標を達成 ○目標に向かって前進		実績値					

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	
社会を明るくする運動事業	278千円	①効率性 ○	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	ポスターコンテストや講演会などを保護司とともに進行。更正保護の仕事に従事している保護司会に対し、補助金を交付する。				
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	運動そのものへの関心を一部の人のものだけにせず、広く一般の人にも活動に関心を持ってもらえるようにすること。
課題解決のための取組	「講演と映画のつどい」のイベント開催時には、コーラスの時間を設け、更なる集客のアップに力を入れた。また、保護司会と連携した街頭啓発活動には市長も参加し、一般市民の関心を向上させることに努めた。
未解決の課題	社会を明るくする運動が一部の人のたちだけでなく、広く一般の人たちに関心を高めることが課題である。

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	※□事業完了
	➡	②妥当性 ○		ポスターコンテストを行っていく際には、市内の各中学校を回ってポスター募集の広報活動を行っていく。「講演と映画のつどい」のイベントは、一般の人たちが参加しやすいような講演の内容にするなど、保護司会と協議しながら進めていく。	↓
③有効性 ○		B			課長(代理)
④公平性 ○					曾根 健治

## (2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果
社会を明るくする運動事業		9 ポスターコンテスト消耗品費	11	5	■適切 □見直し余地あり
		9 保護司会補助金	287	273	■適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり